



いちだん

発行責任者
ボーイスカウト
吹田第一団
団委員長
岡田義夫

青少年の運動

スカウティングは、成人に支えられた青少年の運動である。それは成人のみによって管理・運営される青少年のための運動ではない。(第33回世界スカウト会議決議事項より)

いかなる思想決定を行うとしても、その前に... 私は私が最良と考える権威に相談する。それは少年そのものである。(B-P 1937年ハーグ国際会議閉会の辞)

意思決定への青少年の参画、とは皆さんも耳にされる言葉かもしれませんが、でも、それってベンチャーやローバーだけのことだと思いませんか？もちろん年代が上がるほど、その度合いは高まっていますが、実は、ビーバーからそのための練習は始まっているのです。指導者は、それぞれの部門でそうした力をつけていくスカウトたちの背中を、そっと支えていくのです。

ビーバースカウト...群れに入る練習
カブスカウト...仲間と群れを動かしていく
ボーイスカウト...自分たちで計画を練り実行する
ベンチャースカウト...ゼロから企画をはじめ、達成できる
ローバースカウト...したいことから、やらねばならぬことへ



人の役に立つことができる良き社会人



そう、そもそもスカウティングは、B-Pの書いた本に共鳴した少年たちが勝手に仲間を作って動き始め、指導者はあとからそのお手伝いに呼ばれたのです。スカウトたちがしたいことをし、指導者はそれを支え見守るのです。

(SCOUTING誌より)

ビーバーコーナー

みんな、なかよし! みんなで、あそぼう!!

12月13日「年末集会」

年末集会、今年はビーバー隊のスタンツはできませんでしたが、カブ隊・ボーイ隊のお兄さんたちの楽しい劇や手品、それに楽しみなプレゼント交換・・・

来年はもっとたくさんの仲間で、スタンツもやりたいね



12月31日 22時30分「除夜の鐘つき」



平成21年も今夜で最後、今年の煩惱を祓って、新しい1年、健康で過ごせますようにという願いを込めて、鐘をつきました。

「ごおおお〜ん!」思ったよりも大きな音でちょっと”びっくり”でも、いつまでも響く「うお〜ん〜」という音は、ちょっと不思議な感じですね。

年が変わる時に、神様や仏様に感謝して、今年1年の感謝と新しい1年への願いを込めて家族一緒に除夜の鐘をつきに行くという、昔からの日本の慎ましい習慣も、折に触れ伝えて行きたいと思います。

せえ〜のお〜、「ごお〜ん〜!」



2010年1月10日「万博公園凧揚げ大会」



凧揚げ大会に参加、手作り凧作りにも挑戦しました。

高く揚げるつもりだったけどなかなかうまく揚がりません、糸

は、た〜くさんよういしてただけどな〜、残念!

来年は、カブ隊に入ってから凧揚げだから、今度は自分で作った凧で参加です。..今日はそのれんしゅうれんしゅう!

☆これからの活動予定☆

・2月21日(日) 13:00集合

場所:千一集会所 「B.P祭」

・3月7日(日) 9:30集合

場所:阪急吹田市役所側ガード下「施設見学」

・3月27日(土) 10:00集合
3月28日(日)

場所:阪急吹田市役所側ガード下「一泊舎営」

☆活動詳細については、実施前にメール・電話等でお知らせいたします。☆

カブ隊コーナー



平成 21 年 12 月 13 日 年末集会

今回カブ隊の出し物については、隊長から「昔話から1つ選んで劇をすること。しかし、そのままの内容でなく必ずアレンジを加えること」というテーマがあり、1組は「うらしま太郎」、2組は「3匹のこぶた」の劇をしました。みんな堂々とそれぞれの役を演じていましたね。

平成 21 年 12 月 20 日 六甲山ロックガーデン

大きな岩を這い上がり目的地から見渡した景色は神戸市外を一望できる絶景スポット。山頂付近は強風が吹き荒れ、あまりの寒さに風がよけられる場所を探しお弁当を食べました。帰りは追跡ハイク、石や木の枝を捜して目印を作りました。体はくたくたに疲れたけど気分はスッキリでした。



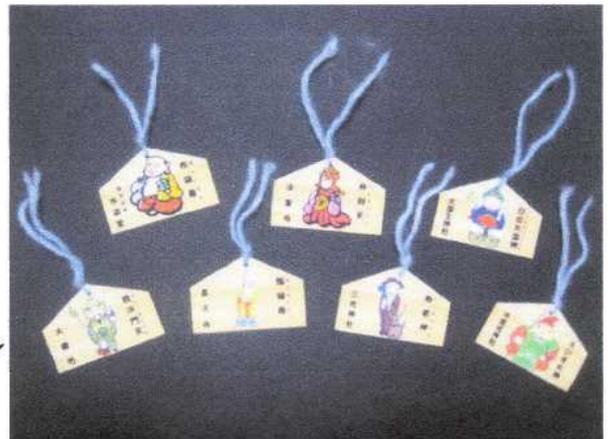
平成 22 年 1 月 10 日 たこあげ大会

うさぎ・しかスカウトは「六角だこ」、くまスカウトは「立体だこ」を作って、恒例のたこあげ大会に参加しました。糸が切れて凧が飛んでいってしまった人や、なんで上がらないのかと調整を繰り返した人もいました。残念ながら賞を貰った人はいませんでした。・・・また来年がんばりましょう！！

平成 22 年 1 月 24 日 七福神めぐり

大阪市内にある七福神を祭られている七つの神社やお寺を巡りお参りしました。七福神のことを勉強し、途中道頓堀観光をしながらも、一日中街の中を歩きたくさんの「福」を持ち帰りました。帰ると・・・なんと2万歩以上歩いていました。みんな頑張ってくよく歩きました！！

隊長手作りの絵馬をもらいました



ボーイ隊コ～ナ～



ツキノワグマ！
の剥製（はくせい）
花背山の家にて

平成 21 年 11 月 14～15 日北千里にて隊合同キャンプ/ビーバーやカブから見て、はずかしくないようになりっぱなお兄さんお姉さんと思われることが出来たのかな？夜のミニキャンプファイヤでは小さい円でゲームをして楽しみました。 11 月 29 日隊集会（大井池清掃手伝い）/2 ヶ月に一度の清掃をしている藤が丘自治会さんのお手伝い。朝 7 時 45 分集合でしたが隊員はがんばってくれました！ 12 月 5 日隊集会（年末集会準備）/秘密の特訓中。 12 月 13 日年末集会 / 秘密の特訓の結果は？？今年失敗したところがあれば、忘れずにいて来年失敗したところをなくすように。 12 月 31 日照儀坊にて除夜の鐘撞き / 持ち物は煩惱（ぼんのう）とチーフだけ。お寺の門の所に「煩惱（ぼんのう）の身に沁（し）みわたる除夜の鐘」と五七五がありました。鐘の音を打ち鳴らすことで、自分の悪い欲望（野菜を食べたくないからケーキが食べたいという気持ちなど）を捨てて、自分の良い希望や夢を捨てずにいてほしいです。 平成 22 年 1 月 17 日隊集会（新年会）/ 新年のあいさつとともに、みんなで百人一首、坊主めくり、だるま落とし、こま回し、トランプ、オセロ、将棋、などなどでリーダーも含めてゲーム王決定戦を行いました！百人一首などで大活躍した班長が一位でした。 1 月 31 日隊集会（大井池公園にて清掃手伝い）/ 11 月と同じです。これをきっかけに自分のすんでいるところの自治会のお手伝いをしてみてもどう？ 2 月 10 日病院へお見舞い / 協和会病院へお見舞いに行き、早く元気になってもらいたいという気持ちをこめてツルをちょっとだけ折りました。大雨の中来てくれた隊員には感謝します。 2 月 13～14 日京都市花背山の家にて舎営 / 行く週になってから急に春並みに暖かくなってきて雪がまったく無いのではと不安でした。しかし普段の行いが善いのか、現地はマイナス 3 度になるなど、雪がふってきました。雪の中でスモウ、雪合戦、と楽しいことがいっぱいでした。ただし、雪山では危険がいっぱい、ケガと風邪、日焼けには気をつけよう！ 来年は雪中キャンプの予定（笑）！？



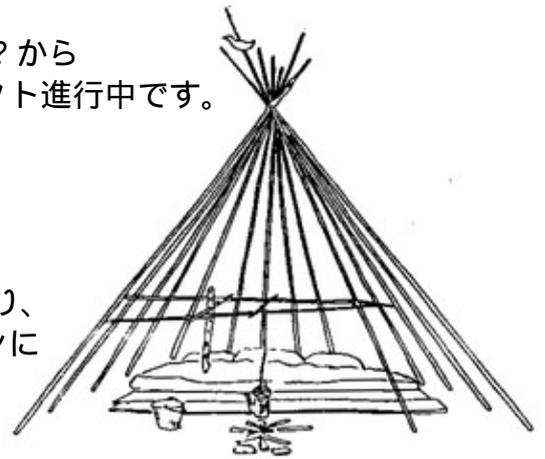
--ベンチャー隊--

できるか...? インディアンテント!

3月27日~28日のVSキャンプに向けて竹で作ったテントで1泊キャンプができないものか?から始まったベンチャー隊インディアンテントプロジェクト進行中です。

「インディアンテント」はインターネット等で検索するとインディアンの言葉「ティピー」などよばれる大形テントです。

“ティ”が「住む」、「ピ」は「使う」という語源があり、「住むために使用する」ためのテントでインディアンにとっては本当の意味での家だったということです。



ティピーの形状は、底面が円形で頂点に向けたがった形の円錐形になっています。設営の際には最初に骨組みを放射状に組み、そのまわりにシートを巻きつけるだけの単純な構造です。この骨組みをベンチャー隊では、現地(自然体験交流センター)の竹を使ってくみ上げる計画です。

ティピーの内部は中心が焚き火のスペースでその周りが居住スペースとなっています。頂点にあいた穴が煙突の役目を果たします。寒い時期のキャンプなので、この構造で断熱をどのように工夫し快適に過ごせるか楽しみです。



その為にも計画段階からしっかりとした設計と計画を練って準備をしていかなければならないと思います。

その昔、1団でもティピーを制作したことがあるそうですが、残念ながらその記録は残っていません。しっかりとしたプロジェクトとして完成できるように頑張っていこう!!

第15回日本ジャンボリー(15NJ)

吹田地区派遣隊の結隊式が平成22年4月25日に吹田市立自然体験交流センターで行われます。

15NJ参加者は、小学校6年生~高校3年生年代のボーイスカウト、引率指導者:16,000人。海外参加者、友好諸団体青少年、引率指導者:1,000人。オープン参加者:1,000人。大会運営協力指導者、インストラクター等:2,000人の合計2万人規模になります。

最新の情報は日本連盟のホームページをチェック!!



平成21年12月13日(日曜日)千里第一小学校 多目的教室において『平成21年度年末集会』をおこなった。参加者：隊員・リーダー・団委員 32名、保護者8名 合計40名

1月10日(日曜日)万博記念公園で開催された『凧揚げ大会』にカブ隊、ビーバー隊が参加した。団委員長と団委員2名がサポートした。

1月31日(日曜日)に開催された、大阪国際女子マラソン・ハーフマラソンの沿道警備に岡田団委員長と小川団委員が奉仕した。

2月3日(水曜日)千一地区公民館において、久徳一志コミッショナー、村木順子副地区委員長、藤井武司・本岡敬一郎組織委員の4名の訪問を受け、団審査がおこなわれた。平成22年度の登録にむけて、隊員の募集状況、各隊の活動、現況等について質問があり、団委員長、各隊長が回答、説明をした。



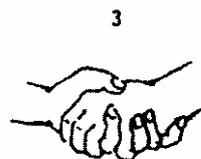
左手の握手

一般に握手は右手でしますが、スカウト仲間は、親しみの心や仲良しのしるしを表すために「左手の握手」をします。

これは、全世界共通のスカウトの挨拶する仕方になっています。左手の小指をあげて三指として、スカウトサインの形で握手をします。

ボーイスカウトが左手で握手を用いるようになったのは、B-P 卿が西アフリカで軍人として戦争中、1896年にアシャンティ族との戦いで、負けた相手の酋長が風習で左手で握手をして欲しいと願ったことからヒントを得て使うようになりました。

左手の握手はアシャンティ族の風習では、酋長と最も信頼されている者との間に交わされる特別なしるしなのです。



(スカウトに伝えたい話100選より)